

第5回軽米町議会定例会平成27年度軽米町一般会計補正予算等審査特別委員会

平成27年12月15日(火)

午前10時00分 開議

議事日程

- 議案第 1号 軽米町税条例等の一部を改正する条例
- 議案第 2号 軽米町個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例
- 議案第 3号 軽米町暴力団排除条例
- 議案第 4号 軽米町農業委員会の委員等の定数に関する条例
- 議案第 5号 平成27年度軽米町一般会計補正予算(第5号)
- 議案第 6号 平成27年度軽米町下水道事業特別会計補正予算(第1号)
- 議案第 7号 平成27年度軽米町介護保険特別会計補正予算(第1号)
- 議案第 8号 平成27年度軽米町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)
- 議案第 9号 平成27年度軽米町水道事業会計補正予算(第1号)

○出席委員（12名）

1番	中里宜博君	2番	中村正志君
3番	田村せつ君	4番	川原木芳蔵君
5番	上山勝志君	7番	茶屋隆君
8番	大村税君	9番	松浦満雄君
10番	本田秀一君	11番	細谷地多門君
12番	古舘機智男君	13番	山本幸男君
14番	松浦求君（同席）		

○欠席委員（1名）

6番 舘坂久人君

○地方自治法第121条の規定により説明のために出席した者の職氏名

町	長	山本賢一君
副町	長	藤川敏彦君
教	育	菅波俊美君
総務課	長	日山充君
税務会計課	長	山田元君
町民生活課	長	中野武美君
健康福祉課	長	川原木純二君
産業振興課	長	高田和己君
地域整備課	長	新井田一徳君
教育次	長	佐々木久君
監査委員		瀧澤英敬君
農業委員会事務局長		高田和己君
選挙管理委員会事務局長		日山充君
健康ふれあいセンター所長		川原木純二君
水道事業所長		新井田一徳君
再生可能エネルギー推進室長		平俊彦君
税務会計課担当主幹		於本一則君

○職務のため議場に参加した事務局職員の職氏名

議会事務局 長	佐藤暢芳君
議会事務局 主査	鶴飼義信君

◎開議の宣告

○委員長（本田秀一君） 皆さん、おはようございます。

ただいまから平成27年度軽米町一般会計補正予算案等審査特別委員会を開会いたします。

委員会は本日1日の予定でございます。皆さんの慎重な審議をお願いいたします。

ただいまの出席委員は12名であります。定足数に達しておりますので、会議は成立しました。

本日の欠席者は館坂委員でございます。以上、諸般の報告を終わります。

（午前10時03分）

◎総括質疑

○委員長（本田秀一君） それでは、きのう再生可能エネルギーの資料が出ていないという事で、今回皆さんに配付していると思いますが、その資料につきまして説明をいただいて、その後質疑に入りたいと思いますが、よろしいでしょうか。

〔「はい」と言う者あり〕

○委員長（本田秀一君） 再生可能エネルギー推進室長、平俊彦君。

○再生可能エネルギー推進室長（平 俊彦君） それでは、お手元の資料をごらんいただきたいと思っております。再生可能エネルギーにつきましては、資料のほう2部提出させていただいております。ナンバー2の再生可能エネルギー推進協議会、再募集のメンバーの名簿ということでございますが、きのう申し上げましたとおり、現在協議会の委員を募集しておりますので、委員につきましては決定次第、何らかの方法で皆様にお知らせしたいと思っておりますので、よろしくをお願いいたします。

次に、4番でございますけれども、資料のほうの太陽光発電各地区の進捗状況でございます。資料のほうは横長の資料でございますけれども、軽米町における再生可能エネルギー事業計画、認定等進捗状況でございます。左側のほうからメガソーラーにつきましてごらんいただきたいと思っておりますけれども、まず1つ、山内地区なのですが、山内西、事業者レノバでございますけれども、事業面積155.1ヘクタール、それから最大規模48メガワットでございますけれども、ここにつきましては現在の進捗状況でございますが、現在再エネ法に基づく設備認定ということでございまして、県のほうに林地開発の協議中でございます。それで、工事の着手の予定なのですが、県のほうから設備認定のほうの同意を今月中、12月中なのですが、同意いただく予定になっておりまして、稼働のほうは、これは予定なのですが、平成28年度中に稼働の予定となっております。

次に、同じく山内でございますけれども、軽米東、これも事業者レノバでござい

ますが、事業面積300.6ヘクタール、発電規模70メガワットでございますけれども、ここのほうは進捗状況でございますけれども、林地開発の協議等を来年度に向けまして現在詳細設計中でございます。

次に、計のほう、ちょっとはねまして、軽米・西山太陽光発電所、これは事業者はスカイ・ソーラー・ジャパンでございますけれども、事業面積4.1ヘクタール、最大規模で2メガでございますが、こちらのほうは一部農地がございまして、10月末に農地転用の手続が調いまして、現在造成工事の準備中でございます。それで、稼働の予定でございますけれども、来年のお盆ごろまでには稼働したいという事業者の予定となっております。

次に、軽米・尊坊、ここは米田地区でございますけれども、事業者がスカイ・ソーラー・ジャパン、事業面積で156ヘクタール、発電規模43メガワットでございますが、ここの進捗状況でございますけれども、現在、来年の林地開発の申請と申しますか、同意のほうに向けまして、今詳細設計等を行っている状況でございます。工事着手の予定は平成28年12月ということで、稼働のほうは平成31年4月に予定しております。

次に、高家でございますけれども、事業者、同じくスカイ・ソーラー・ジャパン、事業面積230ヘクタール、発電規模でございますが、40メガワット、ここにつきましては経産省の手続のほうは調っているわけでございますけれども、現在東北電力のほうと系統連系等の手続中ということでございまして、現在東北電力のほう、設備の関係なのですが、ちょっとおくれぎみということで、現在ここについては電力と協議中と。工事の着手の予定なのですが、平成29年12月、稼働は平成32年12月を予定しています。

次に、笹渡、それから長倉・戸草内、小松、向川原・軽米駒木の地区でございますけれども、事業者はブルー・エナジー・パートナーズ、面積は4カ所で819ヘクタール、発電規模でございますけれども、179メガワット、こちらのほうも経産省の発電整備の認定のほうは受けておりますけれども、現在賃貸契約の取りまとめと、それから電力の系統連系等の協議中ということでございます。

大まかな進捗状況なのですが、以上でございます。

○委員長（本田秀一君） 説明が終わりました。質疑に入りたいと思います。茶屋委員。

○7番（茶屋 隆君） 軽米西、山内地区ですけれども、この前11月でしたか、林地開発の部分で、また12月にも今出していて、それを県のほうで協議中ということですけれども、確実にはおりるといふふうに理解して大丈夫ですよ。何かちらっと聞いたら、あれ、準備段階の工事をやっているのかなというようなこともちらっと聞きましたけれども、そういうような工事には入っていないのかな。入っているような話も聞いたのですけれども。

○委員長（本田秀一君） 平室長。

○再生可能エネルギー推進室長（平 俊彦君） まだ工事のほうには入っておりません。

1 1月19日に県のほうの森林審議会、林地保全部会のほうで委員方から協議していただいた結果が、再エネ法に基づく設備認定のほう、委員方の意見を集約した結果、林地保全部会のほうでは同意は適当と認めると、そういうような部会の結果が出されておりますので、最終的に判断するのは県のほうなのですが、森林審議会、保全部会のほうは県が諮問した第三者委員会、そういう立場でございますので、そちらのほうで私どもといたしますか、林地開発関係の書類を出しておりますので、それを県の基準に合わせて適合していると、クリアしているということで出されたものに対して委員方の総体的な意見が適当と、そういうことでございますので、その意見を県のほうで判断して、町のほうに同意の可否が出るわけでございますけれども、審議会の結果でございますので、最終的には県の判断でございますけれども、そういう流れですので、12月中には同意がいただけるものと。

○委員長（本田秀一君） 茶屋委員。

○7番（茶屋 隆君） それから、最初笹渡から向川原地区までの部分が千三百幾らでしたけれども、9月の定例会で819ヘクタールに縮小になったということですがけれども、こういった部分で、よく私たちが歩いていけばこっちのほうどうなっているの、本当に大丈夫なのとかって聞かれますけれども、そういった地権者というか、そういうような方たちには、今契約取りまとめ中とありますけれども、皆さんにはそういったことで説明はされていると思いますけれども、何か8月あたり集めて説明すると言ったけれども、それきり音沙汰がなくなっただかというようなことも聞かれますけれども、事業主体と地権者の問題かもしれませんけれども、その辺はどういうふうな形で取り進めているのでしょうか。

○委員長（本田秀一君） 平室長。

○再生可能エネルギー推進室長（平 俊彦君） 笹渡地区ほかの地域でございますけれども、4月にこの地区で説明会開きながら、それから現在契約の取りまとめ中ということで、その後も事業者のほうでは地域のほうに入って取りまとめを行っているということを伺っております。それで、電力の系統連系とかあるわけでございますけれども、前代の東北電力、手続的な部分は県との前の口頭での協議とか、そういうのを経て接続検討、それから系統連系のほうの書類を提出しているわけでございます。そういう中で現在協議ですので、電力のほうとは私のほうも、岩手支店でございますけれども、ちょっと状況を確認させていただきましたけれども、こちらのほう、これまで昨年来、10月、それから12月、1月と制度的な部分もありましたし、というのは固定価格買い取り制度がなくなるとか単価が大幅に下がるとか、そういう国と電力の施策的な部分がありまして、事業者が駆け込みと申しますか、そ

ういうので細かいのから集中しております、今回答のほうは未定となっておりますけれども、手続のほうは済んでいるということで確認しておりますので、今後接続の場所とか細かいところを検討して、回答があると思っておりますので、長倉は言いましたけれども、笹渡地区についても現在進行中ということでご理解いただきたいと思えます。

○委員長（本田秀一君） 茶屋委員。

○7番（茶屋 隆君） 面積は当初よりは減ったわけですがけれども、819ヘクタールですか。これは、そうすれば面積的にはその面積の部分で対応していく、これからもそのぐらひは大丈夫だということでもいいですか。

○委員長（本田秀一君） 平室長。

○再生可能エネルギー推進室長（平 俊彦君） 当初から新聞にも報道ございましたように、6割程度に減したということで、ただ当初の数字というのが大ざっぱと申しますか、エリアは報道機関のほう、事業者のほうの取材の結果なわけでございますけれども、その中で経産省、それから東北電力との協議とか、あと地権者の取りまとめをやった結果が現在の事業面積として819ヘクタールということになっておりました、その面積なり規模で経産省の認定とか、電力と協議しております。そのところの基本的な部分が経産省の関係とか変われば、これまで手続が済んだ部分についてもまた初めからやり直し、単価とかそういうのが解消になるということで、事業者のほうは駆け込みみたいな感じで去年の3月に書類のほうを出しているわけなんですけれども、今後微調整はあると思えます。これがぴったりという、これが決定ではないと思えます。若干出してからの修正のほうはできるようでございますので、そこも微調整のほう、今細かい契約とかそういうのを進めながらやっておりますので、修正等やりながらその基準をクリアするというところでやると思えますので、面積のほうとかの部分については、これは確定でないということでご理解いただきたいと思えます。

○委員長（本田秀一君） ほかにありませんか。

古館委員。

○12番（古館機智男君） お聞きしたいと思えますけれども、細かいことというか、今の説明ありましたけれども、全体的な笹渡地区以降のブルー・エネルギー・パートナーズの部分には面積的に9月で報告したような面積に変更した後は変わっていないと。その前のやつも、前の資料持ってきていなかったのですけれども、変わらないということで確認してよろしいのですね、面積は。

○委員長（本田秀一君） 平室長。

○再生可能エネルギー推進室長（平 俊彦君） 先ほど若干変更がございます。山内の軽米西でございますけれども、現在155.1ヘクタールということで資料提出させ

ていただきましたけれども、たしか前回154.6ヘクタールですか、林地開発の協議等進めながら精査、詳細設計やった結果、5反歩ふえております。

○12番（古舘機智男君） それだけ。

○委員長（本田秀一君） 古舘委員。

○12番（古舘機智男君） わかりました。

あと、今の説明で軽米東の進捗状況、詳細設計中というのと、林地開発準備中、軽米・尊坊の関係、これは進捗状況としてはどっちが進んでいるというか、同じ状況ですか。何か先ほど説明では軽米・尊坊のほうも詳細設計中みたいなことも言っていたので、これは進捗状況の順番からいえばどういう位置づけになっているのか、ちょっと同じような……

○委員長（本田秀一君） 平室長。

○再生可能エネルギー推進室長（平 俊彦君） この進捗状況でございますけれども、軽米東の方は詳細設計中、それから軽米・尊坊のほうは林地開発準備中ということでございまして、どちらが現在のところ進んでいるかと申し上げますと、軽米・尊坊のほうが来年12月の林地開発に向けて詳細設計のほうを進めているということでございます。軽米東の方は、事業者の予定といたしますか、同じレノバなのですけれども、軽米東のほうの、そちらのほう中心に林地開発進めておりまして、今こちらのほうが調べて、大体めどが立ちましたので、現在ここも来年に向けて、同じ林地開発とかなのですけれども、細かいところも含めて詳細の設計中でございます、ちょっと紛らわしいのですけれども、具体的に軽米・尊坊のほうが進んでいると、今軽米東のほうは軽米西のほうが終わったところで、次に向けて動いているということで、ちょっと言い回しといたしますか、言葉のほう誤解を招くようなところがあると思っておりますけれども、現在そういう状況でございます。

○委員長（本田秀一君） 古舘委員。

○12番（古舘機智男君） 私ちょっと不勉強なのですが、固定買い取り制度の関係についてお伺いしたいのですけれども、接続の検討、系統連系が高家地区以降というのは未定になっているのですが、全部丸がついているところは固定買い取り制度、前に示された金額ちょっと忘れちゃったけれども、それですといくということだと思うのですけれども、未定の部分の高家地区、笹渡地区以降の分については買い取り価格が変更になる可能性があるという部分がまだ決定していないということと理解していいのかどうか確認したいのですが。

○委員長（本田秀一君） 平室長。

○再生可能エネルギー推進室長（平 俊彦君） 結果を申し上げますと、価格のほうは決定しております。未定のところも事業者のほうから決定していると伺っております。と申しますのは、昨年来電力の制度といたしますか、取り扱い等々、いろいろ変更あ

りまして、高家地区、それから笹渡地区等、接続検討のほうの申し込み回答がない、その中で系統連系の申し込みをしていると、出ていると、こうなっておりますけれども、昨年、平成26年までといたしますか、事前の協議を終えて、それから電力でございまして、接続検討の申し込みをいただいて、その回答が出て、さらにその次に系統連系の申し込みを出して承諾をいただくと、そういう流れだったのですけれども、ことし1月26日からですかね、発表があったわけなのですけれども、事業者のほう、制度の変遷の中で単価が下がるとか制度がなくなるとか、そういう流れの中で東北電力の取り扱いが変更になっております。接続検討と系統連系を同時に出せということで、事前の協議が済んだものに対しては出せる。ただし、その場合意思決定書、確実に事業をやるという、事業者のそういう意思表明書を出した場合は単価のほうで確定するというふうに、ちょっと説明不足でございましたけれども、そういう電力の取り扱いが変わっておりますので、それに向けて事業者のほうも申請のほうを急いで手続をして、そういうふうにして単価が決定になっているというふうになっております。

○委員長（本田秀一君） ほかにありませんか。

中村委員。

○2番（中村正志君） 内容のことではないのですけれども、この資料のことで、私見たときに表のつくり方なのではすけれども、軽米西、軽米東、計（山内）と、これはこの山内の分の計だというのはわかりましたけれども、右のほうではすけれども、最後に計（軽米）とあって819ヘクタール、この数字は多分みんなの数字かなと思ったらそうではないみたいで、笹渡地区からの4つの合計分が819ヘクタールと。やはり表のつくり方を工夫していただかないと誤解を招くのではないかなと。というのは、軽米・西山地区、軽米・尊坊地区、高家地区というのは独立していますよね。この3つが右の合計に入っていない。

〔「会社を分けてる」と言う者あり〕

○2番（中村正志君） いや、会社は、名前はついているけれども、表のつくり方としてはちょっと。

もう一つは、最後の合計の1,669ヘクタール、これが私さっき計算したら1,664.8ヘクタールのようなのですけれども、誤差が4.2ヘクタールある。その辺をちょっと計算し直したほうがよろしいのではないかと。

○委員長（本田秀一君） 平室長。

○再生可能エネルギー推進室長（平 俊彦君） 山内地区、それから笹渡地区、計ということで、大変申しわけございません。若干色分けといたしますか、網でやっておりますけれども、今度からもっと見やすい図面にするようにさせていただきます。

それで、面積のほうでございまして、そちらのほうも申しわけございませ

ん。確認させていただきますので、よろしくお願いたします。

○委員長（本田秀一君） ほかにありませんか。

古館委員。

○12番（古館機智男君） ちなみに、さっきの買い取り価格の単価についても教えてください。

それから、もう一つお聞きしたいのは、町長がこの前11日に何か再生可能エネルギー関係の大事な会議が午後からあるというふうなお話をちょっと聞いたのだけれども、それが再生可能エネルギー関係の今の審議している中で報告というか、ものがありましたらお聞きしたいと思います。

○委員長（本田秀一君） 山本町長。

○町長（山本賢一君） 先般、12月11日に審議会の最終段階と申しますか、部会の上のほうの会ですが、その会議ありまして、私も町村会のほうの代表として委員になっておりますので、出席してまいりました。今回の軽米町の林地開発の部分に関しましては報告事項になっておりまして、下館部会長のほうから報告がございまして、部会としては認知するというような形での報告がありました。その中で私も現状を説明申し上げながら何点か質問を受けて、それに答えてまいりましたけれども、そこで最終了解が得られたのかというふうに考えております。そういうことで、県のほうからは今室長が申し上げたとおり、今月中に許可しようという予定ではなっておると思っております。

○委員長（本田秀一君） 平室長。

○再生可能エネルギー推進室長（平 俊彦君） 先ほどの古館委員の固定価格買い取り制度の単価でございますけれども、平成24年度から固定価格買い取り制度が始まったわけでございますけれども、単価は税抜きで平成24年度単価が40円、平成25年度は36円、平成26年度が32円、平成27年度は6月まで29円、それからまた、それまで1年の単価だったのが、ことしなのですけれども、7月からは27円というふうに単価のほうはなっております。それで、この事業地区部分につきましては、事業者とか地権者との関係もありますので、ちょっとここでの発表は控えさせていただきますと思っておりますけれども。

○委員長（本田秀一君） よろしいですか。

○12番（古館機智男君） はい。

○委員長（本田秀一君） ほかにありませんか。

〔「なし」と言う者あり〕

○委員長（本田秀一君） ないようですので、質疑を終了します。

資料が提出されております。何かほかにはありますけれども、質疑漏れがあれば、茶屋委員。

○7番（茶屋 隆君） 百人委員会の名簿をいただきましたけれども、各部会、当初は20名ずつということで募集されていたと思っていましたけれども、今こう見れば十五、六人のところもありますけれども、この名簿の人員でこれから進められていくということでもいいのですか。また再募集するのか、そういうような話でこのままで。

○委員長（本田秀一君） 日山総務課長。

○総務課長（日山 充君） 茶屋委員のご質問にお答えしたいと思います。

当初20名を目指して募集を、一般公募を含めてやってまいったところなのですが、スポーツ文化観光以外、なかなか委員を引き受けてくださる方が見つからなかったということもありまして、この体制でスタートさせていただきました。追加募集についても考えたのですが、結構なってくれるかもしれないという方にもお声かけをさせていただいた結果でございましたので、とりあえず2年間の任期中はこれでやらせていただきたいと思います。

以上でございます。

○委員長（本田秀一君） よろしいですか。

○7番（茶屋 隆君） はい。

○委員長（本田秀一君） ほかにありませんか。

〔「なし」と言う者あり〕

○委員長（本田秀一君） ないようですので、全体の質疑を終了……ございますか。

山本委員。

○13番（山本幸男君） 百人委員会というか、観光の関係と関連して、町長の所見をちょっとお願いしたいのですが、漫画のジャンプの中に「ハイキュー!!」というのが、ドラマというか、連載されて、大変と人気を集めているというように聞いております。ところが、その作者が当町出身で、そんなことを口コミで知って、軽米町をそのために訪れてくるファンというか、そういう人が大分あるというふうに聞いております。したがって、作者に迷惑がかからない、また応援するというような立場で、町としても何か対応をして、活性化に軽米町を売り出す、そんなことに対応したほうがいいのではないかなと、そう考えておりますが、町長、そんなことも何か考えたことはありませんか。例えば新年交賀会で時間があつたらちょこっと来てもらうとか、元旦マラソンに顔を出すとか、サイン会をしたりとか、役場の控室か待合室に垂れ幕等の展示をすることというようなことはマイナスにはならない、うまく今の時期に活用というか、協力してもらって盛り上げたほうがいいのかと私は考えますが、いかがですか。

○委員長（本田秀一君） 山本町長。

○町長（山本賢一君） 私も「ハイキュー!!」が大変今好評といますか、売れているというようなことは承知しております。私もたまにBS見ておりますけれども、BS

放送の中にも放送になっている状況で、先般読売新聞が取材に来たようでございまして、私もインタビューというか、ちょっと受けまして、同じような質問をされた経緯がございます。そういうことで、今後私はあらゆる可能性を捨てないで、いろんなのにチャレンジしていかなければならない時期でもあるというふうに考えておりますので、いろいろ課題もあると思いますけれども、検討はしてみたいと思っております。

以上でございます。

○委員長（本田秀一君） 以上をもちまして……

中村委員。

○2番（中村正志君） ちょっと私のほうから。きょうこれだけの資料が提出されましたので、さっきはエネルギーのほうやりましたけれども、ただこれを持ち帰ってというのももったいないような気がするのですけれども……

○委員長（本田秀一君） 先ほど諮りましたが、この中身について質疑があるかどうか。

○2番（中村正志君） せっかく資料提出したから幾らか説明していただくか、要求した方のコメントでも発表してもらわないと、せっかく資料出していただいておりますから、その辺考慮したほうがいいのではないかなと。ただ出しっ放しでいいのかなというのをちょっと感じますけれども。

○委員長（本田秀一君） 皆さんにお諮りしますが、説明していただきますか。

○7番（茶屋 隆君） 私資料求めていたのですけれども、大体はきのうの段階で資料が出ていませんでしたけれども、聞いている部分もあって、百人委員会と太陽光発電の部分で資料が出てからと思っていましたけれども、例えば軽米ブランド認証商品24品目というのも資料に出ていますけれども、というのはこれらの資料をもらって私も持っていましたけれども、議員の皆さんも多分全部24品目わからない方もいるのかなと思って、みんなに見てもらって、少しでも宣伝していただければと思って資料要求いたしましたので、その辺ですけれども。

あと、総合戦略策定委員の名簿も私が出していただきましたけれども、大体まず、こういうふうな委員会名簿を見ればほとんど名前がダブっている人がいっぱいいるのですよね。なので、百人委員会の中にもここに名前が出ている人がほとんど町長が必要と認める者という代表の方ですから、その人たちもダブることは別に差し支えはないと思いますけれども、幅広く数多く入っていただければいいのかなと、今そんなことも述べたこともありますけれども、いろんな意見を出していただくためには限られた人だけでなくして、みんなが入っていくような形があればいいのかなと思っていても、やっぱり百人委員会の部分であればいろいろと代表だけでなくして、一般から公募されていますから、すごく中身が広い感じに入っていることはいないと私は思っていましたけれども、得てして委員会、何人かの部分であれば各代

表、各代表ということで、4つも5つもダブっている方もいらっしゃると思いますので、なかなかその辺は難しいかもしれませんが、いろんな意見を吸収するためにはいろんな方が入っているのがいいのかなと思いますけれども、そういったので資料要求いたしましたので。

○委員長（本田秀一君） 質疑の場だと思いますけれども、何か中で知りたいことがあれば説明していただきますが。

○2番（中村正志君） 総合戦略の名簿は前に全協かなんかで配付しませんでしたっけ。

○委員長（本田秀一君） 休憩します。

午前10時36分 休憩

午前10時38分 再開

○委員長（本田秀一君） 再開します。

◎議案第1号～議案第9号の討論、採決

○委員長（本田秀一君） では、まとめに入ります。

討論される方ありますか。

〔「なし」と言う者あり〕

〔「反対か賛成かというのは……」と言う者あり〕

○委員長（本田秀一君） 反対の議案はありますか。

古舘委員。

○12番（古舘機智男君） 討論はしませんけれどもというのですけれども、1号、2号、個人番号制度の関係で、これは自治体としては法律が変わったために実施はやむを得ないことだと思います。だから、マイナンバーのことについての関連のことは、やっぱり自治体としてはその対応の条例はつくらざるを得ないかもしれませんが、本体のマイナンバー、まだいろんな問題点を含んでいて、世論も反対の意見があります。私もこれには立場としてデメリットも多過ぎる中身だと思っていますので、採決の中ではこの2点については反対したいと思います。その2つ、1号と2号です。マイナンバー関連の部分です。税金ごとの細目に関係ある……

○委員長（本田秀一君） ほかにありませんか。

〔「なし」と言う者あり〕

○委員長（本田秀一君） 議案第1号と議案第2号は反対者がおりますので、採決は3回に分けて行いたいと思います。

○12番（古舘機智男君） 反対というよりは賛成できませんという感じ……

○委員長（本田秀一君） 議案第1号、賛成の方の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○委員長（本田秀一君） 賛成多数。

議案第2号、賛成の方の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○委員長（本田秀一君） 賛成多数。

では、議案第3号 軽米町暴力団排除条例から議案第9号 平成27年度軽米町水道事業会計補正予算（第1号）、賛成の方の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○委員長（本田秀一君） 全員賛成です。

◎閉会の宣告

○委員長（本田秀一君） それでは、会議をこれで閉じたいと思います。

特別委員会を閉会いたします。ご苦労さまでした。

（午前10時42分）